

2013 上期 ブロック・支部集会の報告

1. 開催報告

支部名	開催日	場所	参加人数	参加率
北海道	3月9日	札幌Office	15	39.5%
関東/東北	3月23日	東京駅前会議室	40	15.6%
中部	3月23日	名古屋駅前会議室	12	12.2%
関西	3月16日	ハートホテル会議室	40	36.7%
中四国	3月30日	広島Office	15	26.3%
九州	3月23日	博多駅前会議室	17	26.6%
			139	22.3%

2. 各集会での質問事項

■有給取得率向上について（関東・東北）

例えば GW などに CVS プロモーションスケジュールが入っている。

アカウント商談にて事前に判明しているのであればプロモーションスケジュールをシェアしてもらいたい（最低でも3ヶ月前にはサイクルプロモーションスケジュールが解らないと休みの予定が立てられない）

休日出勤の振替休暇取得について、同一週内に振替休日を取得しなければいけなくなったが、同一週に休むことが難しいので新商品時等特にどうにかならないのか？（関東・東北・中四国）

□執行部見解

貴重なご意見有難う御座います。

労組として有休取得率を向上させる為には、取得し易い環境整備の構築が第一だと考えています。

つまり、管理者の労務管理知識を高め、社内カルチャーを醸成していくことが重要となります。

本年度は単年度付与日数ベースで有休取得率 60%を目標に労使間合意されており、

また、安全衛生委員会におても有休取得率向上は重要 Agenda となっています。

本年度は有休取得率の推移を労使間で検証しながら、諸問題（前広なスケジュール開示等）を洗い出し積極的に問題提議をしていく所存です。

* プロモーションスケジュールは対アカウントとの兼ね合い/会社戦略的な要素がある事もご理解願います。

■デポ納品の供給過多について（関東・東北・中四国）

梱包形態、サイズなど事前に解れば社中整理ができる 例えば MMSC にも梱包形態、サイズを表示はできないか

実際に使う期間よりも引取り期限が早い場合、社用車に積みきらない場合など一旦自宅保管しなければいけないケースがある（約 8 割の人が自宅保管している）

□執行部見解

本問題は通常でのサイクル活動での資材供給と追加資材の供給の2つが存在していると認識しています。現状、サイクル活動での資材供給は以前と比較しても少なく、供給過多とは成っていないと聞き及んでいます。追加資材についても、一部地域ではMMSCへ掲載して、TMRの方々が計画的に使用できる体制に切り替えています。然しながら、上述の様に資材を自宅保管するような事例が今後起こらないとは限りません。そこで、本問題を棚上げにするのではなく、今後は発生の都度、実態を明白にして会社と共に本問題の解消へ向け取り組んで行く所存です。

■その他

- ・10周年記念品を配るよりプール金に回した方が良いのでは！
- ・慶弔金などの申請フローが複雑なため、明確化/簡略化して欲しい、ペーパーレス希望（関東・東北）
- ・有休時の携帯所持に関し、改善としてコールセンターなどで対応できないか？
- ・有休取得率を高める事は良い事だが、環境の改善も同時に実施して欲しい。（北海道・中四国）
- ・組合費に関して地域差をつけてほしい。（北日本の活動費が高額の為）（関西）
- ・北日本ブロックが広すぎるのもう一つブロックを増やすべきではないか。（関西）
- ・各集会参加率を高める為に当番制にしてほしい。（関西）
- ・新商品流通時の土曜・日曜出勤に関して（関西）
- ・振り替え休日取得に制限があるなら、新商品の流通タイミングを月曜流通に出来ないのか？

□執行部見解

日常業務/組合組織に関する率直な御意見を頂きまして、有難う御座います。

業務事項は休出、ならび有休に関する意見である事より、ワーク・ライフ・バランスの観点から安全衛生管理に連動させて協議会を通じた提言・要求を実施します。流通日程に関しては新発売休出を抑止する為に過去から見直しを要求していますが、現状では業績への影響懸念が大きな障害となっています。

組合事項では執行部検討で実施できる内容（申請手順の変更、地区割見直し）は早急に着手させて頂く事とし、集会の参加輪番制については7月代表者委員会で提案させて頂く予定としています。

3. 上期ブロック・支部集会を終えて

業務多忙の時節に休日にも拘わらず、各地区で多数の組合員皆さまがブロック・支部集会に参加頂きました事について御礼を申し上げます。

上期集会では総会報告に加えて組合活動セミナー、組合費改定に関するワークショップなど多様な議事となりましたが、各地区集会に参加頂いた皆さまの闊達な意見交換によって今期活動主旨の浸透が高まったと感じております。特に組合費改定については我々の予想に反して大半の方々から御理解と御協力の言葉を承り、執行部一同で心強く受け止めている次第です。

近年の優先課題である超過勤務是正については4月の協定締結で労組要求の「深夜勤務のみなし労働除外」を勝ち取る事が出来ましたが、2月業績低迷を受けて急遽に追加となったVVV活動などの影響により、2-3月の労組調査では超過勤務が拡大傾向となっています。

また年間計画も軌道修正される見込みであり、従業員の業務負担を軽減すべく、労働組合として最善の努力を尽くす所存としております。

BATJユニオンはこれから組織規模に応じた発言力と活動展開を目指して連携強化に取り組んでいきます。そのためには組合員皆さまが積極的に参画頂く事が必要であり、職場集会を通じて率直な意見交換を実施頂ければ、幸いです。

執行部一同